

『学級会や日直、日本型教育』ユネスコとアフリカ普及へ連携

『学級会や日直、日本型教育』ユネスコとアフリカ普及へ連携

-
- 学級会や教室掃除、日直などの「日本型教育」を巡り、文部科学省がアフリカなどの新興・途上国での普及を目指し、国連教育・科学・文化機構（ユネスコ）と連携に乗り出す。
 - 先行するエジプトでは、すでに約 70 校が日本型教育を実践しており、普及の拡大で、グローバル・サウス（新興・途上国）と教育分野での関係を深めたい考えだ。
 - 日本型教育は、学級会などでの「特別活動」を通じ、自習性や協調性を育むとの評価を得ている。エジプトでは、日本型教育を取り入れた「エジプト日本学校」が 2018 年に初めて設置され、27 年には、100 校を超える見通しだ。
 - ガーナとは昨年、日本型教育導入の促進に関する覚書を結んだ。
 - 松本文科相は、ユネスコのハリド・アナニ事務局長と 5 月に会談した際に、日本型教育をアフリカやアジアなどの新興・途上国に普及させたいとの要請を受け、協力することで一致した。
 - 松本氏は近く教育分野を担当するエジプトの閣僚と会談し、普及拡大への連携を確認する方向だ。
 - 今後、日・エジプト両政府とユネスコの 3 者が連携し、28 年に見込まれる「TICAD(アフリカ開発会議)」の機会などを利用し、アフリカ各国と覚書などを結ぶなどして日本型教育を展開することも検討する。
-

<コメント>

開倫ユネスコ協会は、2001 年 1 月に正式に認証を頂き、本年は、設立 25 周年を迎えます。

開倫塾は、足利商工会議所の会員企業で、塾長は、議員を拝命。

開倫塾は、足利商工会議所の主要な活動である「足利 5S 学校」にも積極的に参加、塾長は、役員を務めます。

* 足利市は、「整理・清掃・整頓・清潔・躰」の「5S」活動が最も盛んな街です。企業や団体、市役所や、学校、病院・介護施設など多くの組織が創意工を凝らし、働く人々の自主性を尊重しながら、「5S」と取り組んでいる街として、日本国内だけでなく海外でも知られています。その推進母体が「足利 5S 学校」です。

開倫塾の全校舎は「開倫 5S 学校」のポスターを掲示、「5S 活動」を推進しています。

開倫塾では、「5S」活動推進のリーダーとして「5S インストラクター」の資格取得を奨励、5 名以上が取得しています。特に、開倫塾日本語学校では、2 名の「5S インストラクター」やすべての先生がたの熱心なご指導で、留学生の皆様の理解を得たうえで、「掃除当番」を含む「5S」活動を積極導入しています。

日本型教育として「掃除当番」などの「当番制」を考える際には、「5S」の最後の「S」、「躰（しつけ）」の意味を「自分から進んで行おう」「みんなで決めたことは守ろう」と考える「足利流 5S」を是非参考にさせていただきたく存じます。

2028 年の TICAD (アフリカ開発会議) までに、開倫塾日本語学校は決め、開倫塾全校舎でも、「自分から進んで行う 5S」を大いに進めてまいりましょう。

開倫塾日本語学校は「日本語学校における 5S 活動」のモデルになるよう、大いに頑張ります。

○今のところ「5S」活動に取り組んでいる日本語学校は、開倫塾日本語学校だけかもしれません。

「5S」活動に取り組んでいる「学習塾」「予備校」は、開倫塾だけかもしれません。

○自主性を重んじる『学級会』『当番制』が日本型教育としてユネスコとタイアップしてアフリカに普及させたいほど価値があるのでしたら、開倫ユネスコ協会でも、「5S」を再評価、大いに進めてまいりましょう。

○あまり無理をしない範囲で、少しずつ、「5S」を推し進めて、参りましょう。

2026 年 8 月 2 日 (日)